

福祉の現場で活躍している先輩からのメッセージ

障がい者支援施設 札幌報恩学園
熊野 晴菜さん

幼いころから身の回りに障がい者の子供が多く、自然と福祉ということに触れていたこともあり、高校の頃からこの道を目指しました。専門学校を経て、社会福祉士、社会福祉士主事、介護福祉士の資格を取得。現在は入所施設に勤めているため、多職種（他職員・他機関）と連携を取りチームで利用者さんを支えることを特に意識しています。



後志報恩会 銀山学園
藤原 大貴さん

以前は地方公務員として働き、乳幼児医療や税務関係、最終的には生活保護のケースワーカーとして勤務していました。現場では入所者さんの一人ひとりと向き合い、近すぎず、遠すぎない距離感を大切に、個人の意思や尊厳を尊重するようにしています。自分や家族の状況を考えて決めた転職ですが、自分の成長につながる仕事ができ良かったです。



グループホームうたたね
古川 桃音さん

自分が関わっている利用者さんは、言語でのやりとりが難しく本人の意思や希望を発信しづらいことが多いです。自分が携わっているお仕事は、利用者さんのおうち時間の支援やイベント企画などです。自分が企画したものを、利用者さん本人が興味を持ち喜んでくれた時に、この仕事の魅力を感じます。



社会福祉法人 千歳いずみ学園
武田 連さん

入所してから9年目。資格がなくても中堅として役職者と新人の間に立ち、双方の意向やコミュニケーションを取りながら、ストレスがない環境づくりに取り組んでいます。父親が知的障がい者の施設長をしていたこともあり、小さい頃から施設に顔を出すこともあり、自然と福祉の世界には触れてきましたが、人と関わっていけることがこの仕事の醍醐味だと思います。



障がい者支援施設 ほべつ誠光
安達 香澄さん

職場の退勤時に利用者様から「気を付けて帰ってね」「次はいつ来るの」と声をかけていただいた時に、この仕事をしていて良かったと感じます。人から必要とされ、人の笑顔につながる福祉の仕事は魅力的です。人と関わる仕事なので大変なこともありますが、感謝の言葉をかけていただける「やりがい」があり、少しでも興味を持ってもらえれば嬉しいです。



特別養護老人ホーム 東部緑の苑
柴森 翔太郎さん

介護の仕事と聞くと「つらい」「汚い」「安い」といったマイナスイメージが多いかと思いますが、私はどの仕事より「やりがい」を持っています。子供の頃はおばあちゃん子で祖母がなくなった時に「もっとやれることがあったんじゃないか」と思ったことが福祉の道に進んだきっかけ。仕事と趣味のスポーツを両立しながら充実した毎日を送っています。



障がい者支援施設 おやふる
市川 綾子さん

もともとは保育士を目指して専門学校に通っていました。学校の実習で障がい者支援施設に行くことがあり、施設の利用者様との関わりがとても楽しく、生活支援員の道を選びました。いまの職場では、利用者様の食事や入浴の介助が中心。保育の仕事も福祉の仕事も利用者様が楽しく笑顔でいられるようにする喜びは同じだと思います。



障がい者支援施設 新しのつ幸生園
高橋 周利さん

もともと肉屋さんで働いており、現在の職場に転職して10年。異色な経歴かもしれませんが、はじめは手探りで仕事をしていた状態ですが、今は生活支援主事、そして施設の安全を担う防火管理責任者をしています。利用者様が私の出勤を心待ちにしてくれたり、「あなたがいてくれて本当に良かった」と言われた時は、この仕事で良かったと痛感します。



北広島市みなみ高齢者支援センター
千葉 ゆかさん

社会福祉士、精神保健福祉士の資格を持ち、職場では「介護予防プランナー」「生活支援コーディネーター」として従事しています。もともと地域に役立ってきたいという思いが強く、高齢者、親世代、そして子供達と誰もがいきいきと暮らせる地域をつかっていきたいです。お客様が慣れ親しんだ家で住み続けることができるサポートすることは喜びを共感できます。



学校では、福祉分野を学んでいます。
実際に現場で活躍している先輩達のお話が聞けて、
とても刺激を受けてます。

REPORTER

北海道福祉・保育
大学校 3年
別府 凜さん



REPORTER

北海道武蔵女子
大学・短期大学 2年
児玉 奈々葉さん



「福祉」の世界は、全くの未知の世界。
インタビューを通じて
少し「福祉」に興味が湧いてきて、
イベント当日が楽しみです。

セミナーに出演する先輩に聞いたポイントはコレ！

POINT

1

福祉の仕事の内容ややりがい、そして苦労など現場の職員の赤裸々なトークが聞けます。

現場のリアルな生の声

POINT

3

トークセッションの後に出演した職員との交流会や個別相談会を実施。深掘した現場のリアルを聞けます。

理解を深める交流会

POINT

2

福祉の世界で活躍を目指す学生も出演。将来の仕事に向かって熱量溢れるビジョンを語ります。

学生のビジョンに共感

POINT

4

会場には、実際に福祉施設で使っている人に優しい用具を展示。見て触れて疑似体験もできます。

用具の展示・体験

社会の多様化が進み、そして加速する日本の高齢者。ますます重要になってくるのが「福祉」の仕事。でも「福祉」とか「介護」とか毎日の生活で耳にする言葉でけど、実際にどんなものなのか良く知らない人も多はず。そこで今回は、11月15日（土）に開催される「福祉のリアル」が聞けるセミナーで出演する福祉の現場の第線で活躍している職員にインタビュー。イベントの見どころや福祉の仕事のやりがいについてレポートします。

福祉の“リアル”が聞けるセミナー2025



日時 2025年11月15日 土

【セミナー】13:00～【個別相談・交流会】14:30～

会場 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目3番3号
BiVi 新さっぽろ 2F BiVi PARK

対象者 中学生以上なら、どなたでも参加可能

主催：福祉の“リアル”が聞けるセミナー実行委員会
後援：HTB 北海道テレビ放送

- 社会福祉法人札幌報恩会 ● 社会福祉法人新篠津福祉会 ● 社会福祉法人愛誠会
- 社会福祉法人はるのれ里 ● 社会福祉法人生振の里 ● 社会福祉法人北海長正会
- 社会福祉法人北ひろしま福祉会 ● 社会福祉法人後志報恩会 ● 社会福祉法人千歳いずみ学園

予約特典

事前予約者に1,000円分の
クオカードプレゼント！



※アンケートにお答え
いただいた方のみ

参加お申込み方法

申込フォームから予約受付が可能です。
<https://forms.gle/QHhHmR7kdonAwFZVA>

申込締切 2025年11月5日(水)



参加
無料



福祉の“いま”と“未来”が
見えてくる。